

福島県ため池サポートセンター(ふくサポ)への問い合わせ状況

～今後、問い合わせ内容を更新していきますので参考としてみてください～

< No. 1 >

【堤体・その周辺】

Q：堤体からの漏水があります。原因不明です(災害対応で上流側をフトン籠で施工)

A：(管内現地研修会時、現場確認)フトン籠が経年劣化により籠破損、詰め石が崩落し堤体内の水みち(パイピング)から漏水。パイピングの閉塞工、フトン籠積直し等堤体の補・改修が必要です

Q：堤体からの漏水量がどれくらいだと改修が必要ですか

A：基準では満水位における漏水量が堤長100m当たり毎分60ℓ(毎秒1ℓ)超となります



水深 7.4 cm で毎分 125.1 ℓ

Q：堤体改修にまで至らない場合の漏水量にはどう対処しますか

A：漏水箇所が特定される場合は、土のう積、粘土系土材詰め、場合によってはセメント系固化材が有効です。ケースバイケースなので**ふくサポ**まで一報下さい

Q：取水構造物周辺の下流法面が若干変形(痩せて)いるようです。漏水はありません

A：一般に取水部はため池水深が最も高いため堤体へ働く力も大きく変形や損傷が出易い箇所です。要継続監視下さい

【洪水吐】

Q：越流堰とその側壁の打ち継ぎ上部に生じた隙間からの漏水に伴い常時満水位が確保されません

A：可能であれば堰・側壁を研りコンクリートによる一体化が有効と考えられますが漏水量が微小ならポリマーセメントモルタル等で隙間充填し継続監視下さい

【洪水吐】

- Q：洪水吐左岸部が陥没し、洪水吐導水路下を横断するように右岸側から漏水しています
- A：(管内現地研修会時、現場確認)構造物の損傷は埋設部となっており判然としませんが、堤体内パイピングが認められ、堤体の補・改修が必要です。継続使用は要注意です

【取水設備】

- Q：斜樋・取水口を閉じても底樋から漏水があります(取水口から通水音)
- A：底樋への侵入経路把握が先決です。非かんがい期などに取水口や土砂吐ゲート外部あるいは降水時の堤体表面水みち等から食紅を入れるなどして確認下さい
- Q：取水部コンクリート構造物が摩耗劣化しています
- A：クラックが生じてはいないか(構造耐力の判断要素)、漏水が生じてはいないか(水利機能の低下)など 要継続監視下さい

【ため池管理アプリ】

- Q：令和4年3月16日の地震において、アプリを通じ緊急点検の要請が発報された池とそうでない池があった。点検の必要性がなかったものか、アプリの不具合なのか？
- A：アプリを活用している一部関係者への確認で登録されているため池であってもこの間の点検履歴が入力・更新されていない池は発報されていないとのことでした。尚 開発元である農研機構へも確認・照会中です。また、管理者におかれては、点検履歴の入力について確認され、未了である場合、時間を見計らってアップデートされることをお勧めします。